



# 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

<b>1 建物概要</b>		BEE	1.0	BEEランク	B+
建物名称	公営住宅(発寒団地1号棟)	<b>総合評価</b> ★★★★★			
建物用途	集合住宅				
延床面積	2,582.01 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球 温暖化 対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b> ★★★★★	<p>この建物は特に <b>省エネルギー性能</b> が優れています</p>
	<b>省資源等</b> ★★★☆☆	
	<b>緑化</b> ★★★☆☆	
	<b>雪処理</b> ★★★★★	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	24点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア	4.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア	5.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	8.0
			LR1 効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等				合計	13点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0
C 緑化				合計	8点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0			
D 雪処理				合計	3点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・各住戸には全熱交換機を設置している。 ・住宅性能等級4を満たしている。		
<b>B 省資源等</b> 注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・断熱材にリサイクル可能なグラスウールを採用した。	<b>C 緑化</b> 注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・敷地内に緑地を20%確保している。	<b>D 雪処理</b> 注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・雪対策として集積スペースを確保し、敷地外へ雪を出さないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される